

2024 年 7 月 18 日

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

テクノロジーマップの整備に向けた調査研究(アナログ規制の見直しに向けた技術実証等)(デジタル庁事業)における技術実証を実施

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会（会長: 沖津雅浩 以下 JBMIA）は、令和 5 年度のデジタル庁の委託事業「テクノロジーマップの整備に向けた調査研究（アナログ規制の見直しに向けた技術実証等）」（委託先：株式会社三菱総合研究所）において、アナログ規制の見直しに関する技術実証事業の一環として、実証類型 13「情報の加工・流用防止技術等を活用した閲覧の実証」及び実証類型 14「学習管理システム等を活用したオンライン法定講習の実証」の 2 件に採択され、これらの実証事業において、JBMIA が企画しているドキュメントの信頼性を担保するための新たなプラットフォーム「ドキュメントトラスト基盤」を活用しました。

このドキュメントトラスト基盤を用いることにより、発行されるドキュメントの信頼性が確認され、その結果、ドキュメントトラストが担保されることが確認できました。

デジタル化の急速な進展に伴い社会構造が大きく変化する中、テクノロジーの活用や社会・産業の生産性・競争力の向上を目指し、デジタル改革、規制改革、行政改革を通じて国や地方の制度・システムの横断的課題を解決することが求められています。この中で、ドキュメントトラスト基盤を通じてドキュメントの信頼性を確保し、アナログ規制の改革を推進することが可能であると考えています。

さらに、このドキュメントトラスト基盤はアナログ規制改革だけでなく、行政の公文書の信頼性を向上させるプラットフォームとしても期待されています。これにより、公文書の管理と利用が効率化され、公共サービスの質が向上することが期待されます。

このような結果を受けて、JBMIA は関係省庁や自治体と協力し、アナログ規制改革と公文書の信頼性向上に向けた取り組みをさらに推進していきます。

【実証事業検証結果】

類型 13：情報の加工・流用防止技術等を活用した閲覧の実証

- [最終報告書（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）](#)
- [最終報告サマリー（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）](#)

類型 14：学習管理システム等を活用したオンライン法定講習の実証

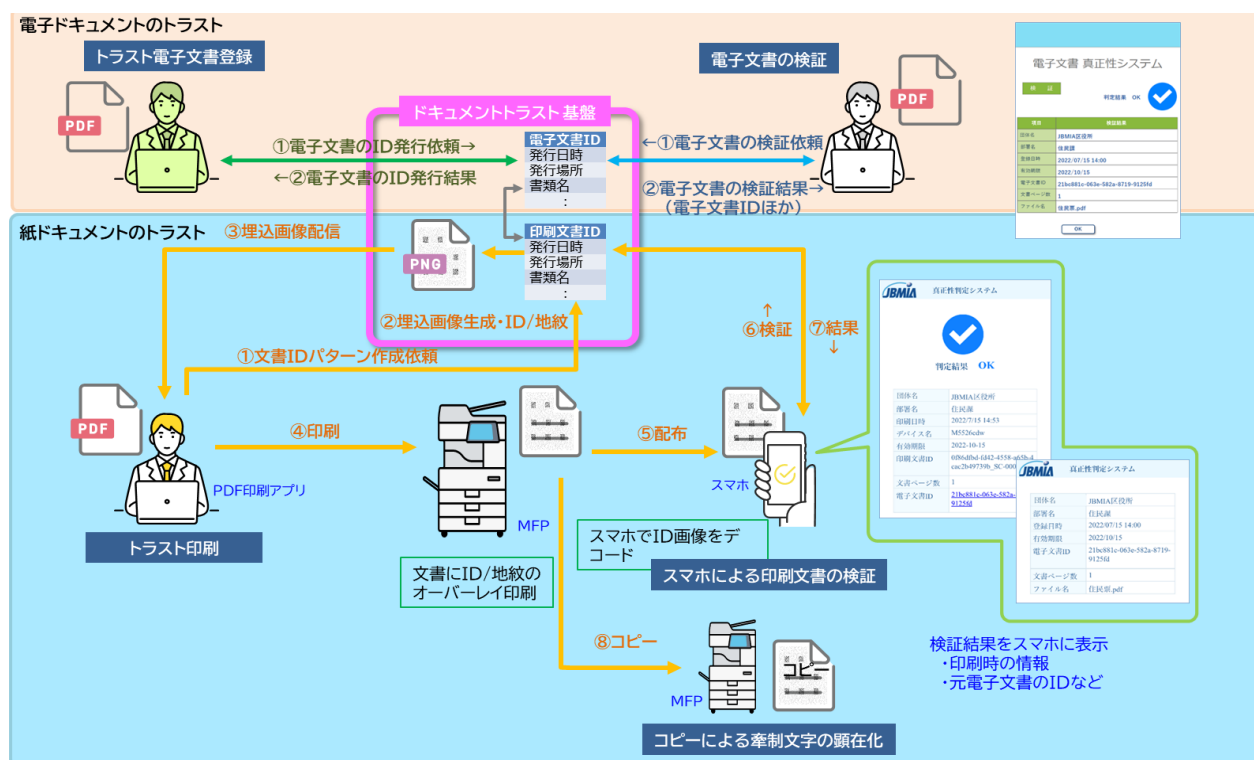
- [最終報告書（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）](#)
- [最終報告サマリー（一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会）](#)

【ドキュメントトラスト基盤概要】

一般的に、ドキュメントは文書管理システムを通じて作成者や作成日時、アクセス権などが管理されますが、組織を離れた後の信頼性は保証されない課題があります。そこで、この問題を解決するために、JBMIAではドキュメントトラスト基盤を活用することを提案しています。具体的には、行政システムが行政文書の原本を保管し、そのトラストデータを基盤に登録することで、第三者機関が正当性を証明できます。これにより、各省庁や地方自治体などはアナログ規制の見直しや公文書管理を強化し、マイナポータルとの連携を図ることにより、異なる事業者間や社会全体でのドキュメント流通も安心して行えるようになります。さらに、文書管理システムや文書作成アプリケーションソフトとの連携を進めることも検討しています。

一方で、デジタル化が進む中でデジタルデバインドやデジタル弱者の問題が残ることも想定されています。そのため、従来の紙で発行されるドキュメントにもユニークなIDを印刷に埋め込む技術を展開し、デジタルの利便性を広げる取り組みを進めています。

JBMIAでは、ドキュメントトラスト基盤を「デジタル化における電子及び紙のあらゆるドキュメントの信頼性を担保する共通の社会インフラ」と位置付け、あらゆる産業で活用されることを目指しています。この取り組みにより、現代社会においてドキュメントの信頼性が確保され、効率的な管理が可能になると考えております。



ドキュメントトラスト基盤 システム概要

本件に関するお問い合わせ先：

一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会

TEL：03-6809-5010（代表）

FAX：03-3451-1770

事務局 坂本 竜太郎